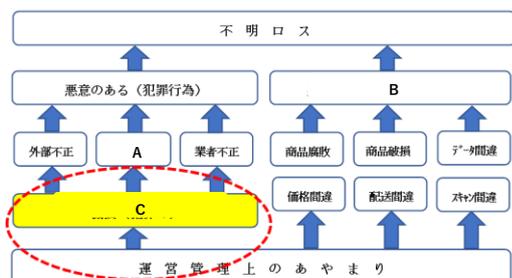


問題36~50			
選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3	
36	期首の实地棚卸で誤って二重に計上されているものがあつたが、もしなかった場合と比較して、期末棚卸の結果では不明ロスはどうなるか。 不明ロスは変わらない	－は減る	－は増える
37	「機会ロス」の説明で正しいものはどれか。 機会ロスとは、理由の如何を問わず、顧客が欲しい商品を購入できなかった場合のこと	顧客が欲しい商品が売場の棚にないが、倉庫には在庫がある場合は機会ロスには含まれない	顧客が欲しい商品が売場にあるにもかかわらず顧客がその場所を見つけれなかった場合は機会ロスには含まれない
38	不明ロス額がマイナスとなった。原因を調査した結果、期中売上高（売価）、廃棄（売価）、期中値上下、期末棚卸に誤りがなかった。万引などの不正がない場合、何が原因と推測されるか。 期首棚卸での計上漏れ	期中仕入高（売価）の計上漏れ	期首棚卸か期中仕入高（売価）の計上漏れ、もしくは両方の誤り
39	以下の「不明ロスと業務プロセス上のあやまり」の図を完成させよ。 A. 悪意のない（ミス・不履行） B. 内部不正 C. 機会（犯罪）	A. 機会（犯罪） B. 悪意のない（ミス・不履行） C. 内部不正	A. 内部不正 B. 悪意のない（ミス・不履行） C. 機会（犯罪）
40	管理ミスで特徴的なものとしては、データ（帳簿）上の在庫が実際の在庫よりも多い状態が生じることがある。つまり、ないはずの在庫が存在するというわけだ。そのような状態が生じるものはどれか。 商品入荷検品時に実際の商品の数量が伝票よりも少なかったがそのままにした	メーカーセールが新商品の見本ということで置いていったものを販売した	店舗間の振替で商品を別の店舗に送ったが伝票は作成しなかった
41	管理ミスを未然に防ぐためには、①マニュアルに沿った教育をする、②手順やプロセスを明確に定めたマニュアルを作る、③正しく実施されていることを確かめる、の三つが重要である。どのような順序で行うべきか、正しい順序はどれか。 ①⇒②⇒③	②⇒①⇒③	③⇒②⇒①
42	以下の表で負（マイナス）のロスの例はいくつあるか。 1	2	3
43	Q41のようにロスが負（マイナス）になる場合をなんと呼ぶか。 逆ロス	マイナスロス	管理ロス
44	实地棚卸を年に1～2回行うのが一般的な業態はどれか。 コンビニエンスストア	ホームセンター、書籍、衣料品などの専門店	スーパーマーケット
45	店舗全体の在庫を実際に一度に調査する实地棚卸とは異なり、部分的に一部門や一部のカテゴリーだけの在庫を調査することをなんと呼ぶか。 サイクル・カウント	パースナル・インベントリ	パースナル・カウント
46	Q45のように店舗にある在庫の一部分のみの在庫調査をすることの目的としているものは何か。 該当商品の保管場所や保管状況を確認する	在庫管理の問題点を発見するとともに、在庫データを正しく修正する	該当商品の品質を確認する
47	ロスを予防するための業務監査で最も重視すべき点は何か。 決められた事を完全に実施しているかどうか	決められた事を店長以下従業員が理解しているかどうか	防犯対策に問題はないか
48	監査対象の店舗についての記述で誤っているものはどれか。 問題のある店、例えばロス率が高い、従業員の離職率が高い店舗に限定して集中して行うべきである	監査業務に投入できる人員や経費予算には限りがあるので、問題のある店舗には臨時に監査を追加することは有効である	基本的に監査はすべての店舗で定められた期間に行うべきである
49	労働基準法に基づいて整備すべき就業規則の説明について誤っているものはどれか。 就業規則に定めのない理由で労働者を解雇した場合、裁判で解雇処分を無効とされる場合がある	禁止行為と懲戒処分について企業が就業規則に明確に定めている場合は、懲戒権の濫用とされることはない	就業規則における懲戒処分の規定は、内部ロス対策として「不正を行った従業員を企業から排除する」「内部不正に対しての抑止効果を求める」という目的がある
50	内部通報制度についての説明で誤っているものはどれか。 経営トップから従業員への協力を要請することが重要である	通報方法のうち通報内容に誤りがないように電話は避けるべきである	内部通報者の保護の観点から匿名による通報を認める

Q39



Q42

商品名	期首実在庫数量	期中入荷数量	期中販売数量	期末実在庫数量
A	10	20	20	8
B	20	40	36	25
C	15	50	45	20
D	18	54	56	15